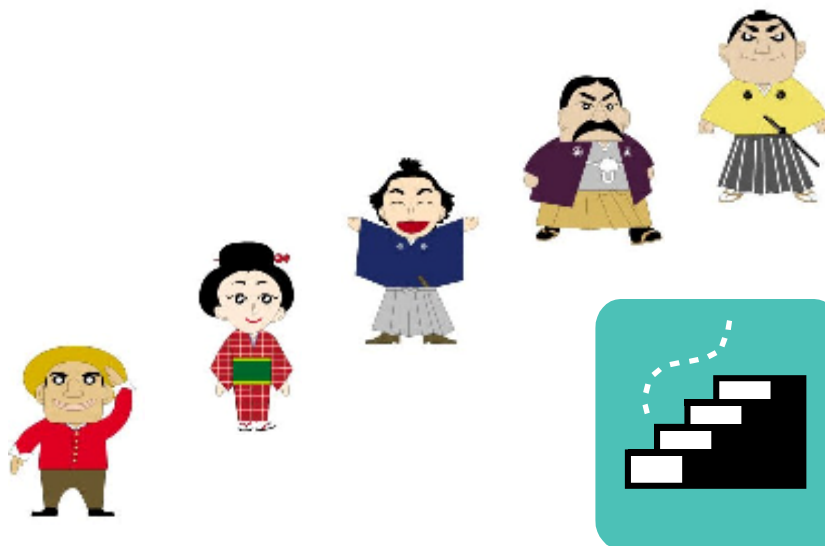


産業振興計画 平成22年度版改定のポイント

～ 計画実行のさらなる加速化、
そしてもう一段上のステップに挑戦！～



本気で実行！ 産業振興計画
高知県
Kochi Prefecture

成果の兆し、さらなる加速化へ

産業振興計画を、昨年4月以来、この1年間「本気で実行」！

成果の兆しが見え始める！

- ・「地産外商」をはじめとする各産業分野
- ・県内各地での地域アクションプランの取組み

別紙「産業振興計画始動！～実行元年の活動実績～」参照

さらに成果をあげて、計画の加速化を図ることが必要！

「知恵の宝庫」である、実行段階での県民の皆様のご意見を参考にさせていただき、

計画を5本の柱を中心に改定し実行！

改定の5本柱

1. 地産外商戦略の加速化
2. 「ものづくりの地産地消」の促進
3. ポスト「龍馬博」の推進
4. 地域の取り組みのステップアップ推進
5. 地域産業を創造・リードする人材の育成・確保

(注) 予算措置が必要な施策は、県議会での審議を経て予算が可決された後に実行可能となる。

1. 地産外商戦略の加速化 ①

改定の背景

県経済の活性化にさらに資する「地産外商」に

- 県外、海外への販路開拓・販売拡大の機会が去年の5倍(13→62件)のスピードで増加
 - ⇒ この機会を十分に生かすために必要なのは…
 - ・成約につなげていく取り組み
 - ・マーケットイン(消費者の目線)の考え方による商品の魅力向上
 - ・外商の進展に連動した生産地・流通などの体制づくり
(例)外商の需要に安定供給を行う取り組み
- 引き続き、エリア別に外商機会の開拓が不可欠
- 外商を行ううえで求められる通常よりもう一段高度な生産管理への取り組みが十分か

改定のポイント

首都圏アンテナショップを拠点とした「地産外商」の加速化

- 首都圏アンテナショップのオープン
 - ⇒ 巨大マーケットでの地産外商戦略の本格的展開
- 地産外商公社の体制強化
 - ⇒ 外商活動の責任者に外部人材を登用、売り手へのアドバイス、フィードバックをさらに充実

1. 地産外商戦略の加速化 ②

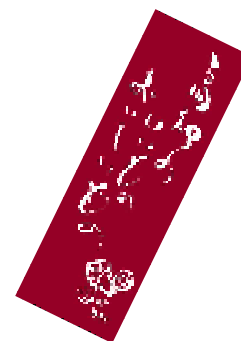
改定のポイント(続)

- 消費者(市場)の評価を受けて行う商品の磨き上げを支援する補助金(地産外商商品ブラッシュアップ支援事業費補助金)の新設
- 高知県が強みを持つ農水産物(例:ナス、ニラ、ピーマン、ショウガ)につき、外商加速化の戦略策定
⇒ 生産地、加工、流通、販売までをトータルに検討し、戦略を実践
- 関西、中部地区での地産外商戦略のワンランクアップを目指した展開
⇒ 関西圏: 関西ネットワークの構築、関西PR戦略会議(仮称)の設置によるPR計画実行など
中部圏: 高知フェアの継続開催など
- 生産管理の高度化に向けた支援体制を強化
(例) 外商活動に必要な高度な衛生管理に向けて、集合研修の機会及び専門家による個別指導のさらなる充実

1. 地産外商戦略の加速化 ③

例えばこんなとき…

- 素晴らしい商品がある。大きな市場で通用するか試してみたい。
⇒ 首都圏アンテナショップで取り扱う商品は、引き続き応募を受け付けています。
さらに、一定の審査を経た商品は、詳細なフィードバックや、市場の評価を踏まえた商品の磨き上げに必要な費用の一部支援を受けることができます。



2. 「ものづくりの地産地消」の促進 ①

本気で実行! 産業振興計画



※ものづくりの地産地消とは・・・県内で必要とするものづくり(加工や機械設備の製造等)をできるだけ県内事業者どうしで行うこと

改定の背景

県内で所得を生み、県内産業の力を強めるように

- 県内で加工・製造工程を行うことで、県内にお金を落とし県内産業の力を強める
⇒ その仕組み作りが進んでいない

改定のポイント

機械設備製造や、食品加工などの付加価値を高める工程を県内で行う仕組み作りを進める

- i) 県内での情報の流れをスムーズに
 - 県内の受発注につながる情報を集約し、関連団体に提供
⇒ 県内事業者どうしの成約につなげる
 - 県内企業データベースの構築
⇒ 県内企業の情報入手を容易に
- ii) 県内産業の技術力・商品開発力などを向上
 - 県内企業の試作品開発を支援
⇒ 第一次産業や加工産業の振興
 - 外部人材を活用し、商品の開発・販売展開までを一貫して支援
⇒ 県内企業の商品開発力やプロモーション力を向上

2. 「ものづくりの地産地消」の促進 ②

本気で実行! 産業振興計画



改定のポイント(続)

- 加工化の推進により、緊急に対応が必要な品目(ユズ、文旦、土佐茶、土佐和牛)の新たな需要を創出
 - ⇒ 産地維持や供給過剰といった課題を抱える4品目(ユズ、文旦、土佐茶、土佐和牛)について大学や企業との連携による商品開発を進め、新たな加工需要の創出を目指す
 - ⇒ 県内加工業の発展、産地の維持・発展に寄与
- 農水産物(下級品など)の付加価値の向上
 - ⇒ 全国的な展開力を持つ企業とのタイアップ(商品開発や販売)により、農水産物の下級品などを用いた新たな加工商品の開発を目指す
 - ⇒ 県内加工業の発展、青果の価格維持に寄与
- 適正表示についてワンストップの支援を実施
 - ⇒ 商品表示に関するトラブルを未然に防止

例えばこんなとき...

- 間伐材で小物を作って売り出したいが、商品化を相談できるところが近くにないかな。
 - ⇒ 加工や機械設備に関するニーズを集めて県内製造業者への情報提供をします。産業振興推進地域本部や産業振興センターに情報をお寄せください。

2. 「ものづくりの地産地消」の促進 ③

本気で実行！ 産業振興計画



例えばこんなとき・・・(続)

- ショウガの加工機械が発注されるよう取り組んでみたいが、機械の開発も必要だし、採算がとれるかな。
⇒ これまでの技術支援やアドバイスとともに、試作品の開発に資金的な助成を行います。ただし、県内での需要が見込まれ、他地域への波及効果が高いものや汎用性があり、今後の新たな開発への足掛かりがあると認められるものなどに限ります。
- 食品表示の規制が複雑でよくわからない。返品トラブルが心配だわ。
⇒ 食品表示の専門家が高知県に新しく来ます。ぜひご相談ください。

for the **NEXT GENERATION**

Kochi Prefectural Industrial Technology Center

高知県工業技術センター



財団法人 高知県産業振興センター

3. ポスト「龍馬博」の推進 ①

改定の背景

400万人観光実現のために

- 今年は「龍馬伝」「龍馬博」の追い風により、全国から多くの観光客が期待できるが、この効果を来年以降も持続させ、高知県の観光の底上げにつなげていくことが必要

改定のポイント

龍馬博での盛り上がりを継続して誘客に活かす ～龍馬から始まる土佐物語(仮称)～

- 「400万人観光推進チーム(第1回会議:平成22年2月12日 構成メンバー:高知県、地元自治体、龍馬博運営団体など)」を設置し、400万人観光実現に向けたPDCAサイクルによる観光客の視点に立った不断の改善
 - ⇒ メイン会場、サテライト会場を中心に、主要観光施設等への周遊状況や、問題点等をチェックし、現場へフィードバック
- 広域ブロック(東部、中央部、西部)ごとに、観光資源の磨き上げによる、1泊以上滞在できる観光地づくり
 - ⇒ 観光振興部、産業振興推進地域本部、観光コンベンション協会が連携した支援体制づくり

3. ポスト「龍馬博」の推進 ②

改定のポイント(続)

- 「龍馬博」での取り組みを継続しながら、高知の強みを生かす「歴史」を中心とした“プロモーション”の展開
- 高知の強み、魅力を生かした「歴史」や「花」、「まちあるき」をテーマにしたイベントの実施によるオフシーズンの底上げ
- 「龍馬伝」の海外での放送やスポーツキャンプなどを活用した外国人観光客誘致対策の展開
 - ⇒ 東アジアをターゲットに、チャーター便の積極的な誘致や四国ツーリズム創造機構と連携したPR、プロモーション活動を展開



- 官民あげた組織体制で、「龍馬博」を成功させ、ポスト「龍馬博」への展開

3. ポスト「龍馬博」の推進 ③

例えばこんなとき…

- 県内の観光地に行ったけど、こうすればもっと良くなるのに…
⇒ ぜひご意見をお寄せください。改善すべき点は、「400万人観光推進チーム」が現場へフィードバックします。
- 今年は「龍馬博」で盛り上がっているけれど…来年はどうするのかな…
⇒ PDCAサイクルによる検証と実行を行い、旅行商品化に向けて、地域の核となる観光資源に育て上げるとともに、オフシーズンも意識した新たな誘客イベントを実施します。
県民の皆様も「おもてなしの心」で高知県の観光を盛り上げていきましょう！




4. 地域の取り組みのステップアップ推進 ①

本気で実行! 産業振興計画



改定の背景

地域の思いや取り組みをビジネスへ、そして産業へ

- アクションプラン推進の加速化
 - ⇒ 総合補助金の活用によるプランの事業化(H21実績(予定)43件 7.2億円)など
 - ⇒ PDCAによる検証、磨き上げにより取り組み内容がステップアップ
 - 一方で計画の実行を通じて、地域での思いやアイデアを具体化するための初期段階へのサポートを求める意見が寄せられている
- 
- 地域の取り組みを成功に導き、地域自身が力をつけるためには、地域の産業を支える中核的な人材の養成が不可欠
 - やる気を後押しし、新たなビジネスへとつなげるステップアップを目指す取り組みに対する支援が必要では

4. 地域の取り組みのステップアップ推進 ②

本気で実行！産業振興計画



改定のポイント

地域アクションプランへの位置付けを目指す 取り組みのステップアップを推進

- 地域アクションプランの追加・拡充
⇒ 新規の取り組みを追加(221件→235件)
内容も必要に応じ拡充
- 「目指せ！弥太郎 商人(あきんど)塾」の開校
⇒ 実践(OJT)に加えて、座学(OFF-JT)を組み合わせた研修
・地域アクションプランへの位置付けの有無に関わらず、地域振興などに取り
組もうとする方が対象
・ビジネスの基礎講習から実践研修までの一貫した地域産業人材の育成支援
- 芽出しからのステップアップ
⇒ アイデアや芽出しの段階の取り組みも含んだ、段階に応じた柔軟な支援の
実施
- 事業の拡充に向けた人・資金面でのさらなる支援(アドバイザー制度の充実、補助
枠の拡大)
⇒ 地域の取り組みを成果につなげる

4. 地域の取り組みのステップアップ推進 ③

例えばこんなとき…

- 地域の資源を活用したビジネスのアイデアを実現したいがどうしていいかわからない。
 - ⇒ まずは、地域本部にご相談頂くとともに、「目指せ！ 弥太郎 商人(あきんど)塾」のステップ1(基礎編)に参加してみてください。
アイデア段階であっても、ビジネスのスキルアップのための研修が受けられます。
また、ステップ2(応用・実践編)では実践を通しての丁寧な指導を受けられます。
さらに、ステップ2の受講者については、一定の審査を通れば、取り組みの費用を財政的に支援します。

5. 地域産業を創造・リードする人材の育成・確保 ①

本気で実行! 産業振興計画



改定の背景

地域の新たな産業の芽を育てる人づくり

- 本県の産業を継続的に底上げしていくためには、財政的な支援と合わせて、地域で中核となって、産業をリードしていく人材が必要
- 世論調査においても産業振興計画の推進のための充実すべき県の施策の1位に
- 第一次産業の新たな担い手は徐々に増加しているが、本県の強みを支えていくためには、さらなる育成確保が必要

改定のポイント

新たな付加価値を創出し、地域をリードしていく人材を継続的に育成。あわせて、地域の産業を担う人材を確保

- 「目指せ! 弥太郎 商人(あきんど)塾」の開校(再掲)
 - ⇒ 実践(OJT)に加えて、座学(OFF-JT)を組み合わせた研修
 - ・地域アクションプランへの位置付けの有無に関わらず、地域振興などに取り組もうとする方が対象
 - ・ビジネスの基礎講習から実践研修までの一貫した地域産業人材の育成支援
- 農村において自ら企画・提案(創造)し、行動できるリーダーの育成
 - ⇒ 先進地域視察や集合研修を通じた人材育成

5. 地域産業を創造・リードする人材の育成・確保 ②

本気で実行! 産業振興計画



改定のポイント(続)

- 県内若手人材が集うミーティングの場を設置
 - ⇒ ・産業振興への県民参画や県内若手人材の異業種交流を促進
 - ・計画への理解を深め、計画への提言も期待

- 第一次産業の新規就業者に対する実践研修段階における人・資金面での支援の充実
 - ⇒ 都会の就職希望者への相談研修の場の提供、特用林産業の生産技術の習得、漁船リース事業の対象の拡大など

- 新規大卒者などの県内企業への就職促進
 - ⇒ 県内企業の情報発信支援

5. 地域産業を創造・リードする人材の育成・確保 ③

例えばこんなとき・・・

- ビジネスのアイディアはあるけれど、どうしたらよいかわからない・・・
⇒ まず、「目指せ！ 弥太郎 商人(あきんど)塾」のステップ1(基礎編)に参加してみてください。ビジネスの基礎から学んで、成果につなげていきましょう。
一連の実践研修を通して、次のビジネス展開に自ら取り組んでいくノウハウが学べます。
- 高知に戻って農業を始めたいが、いきなりは不安・・・
⇒ 都会(東京・大阪)にしながら高知で農業を始めるための就農相談や技術研修が受けられます。また、実践研修段階では、資金の助成や技術指導が受けられます。
- 県外にいる息子や娘が高知での就職を希望しているが、県内企業は良く知らない
ので情報を教えてあげられない・・・
⇒ 新規大卒者の県内への就職を支援するため、県内企業の情報を県外の大学生や地元の保護者の方々に発信し、県内での就職につなげます。